

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

長崎県波佐見町 が応援するふるさと名物

波佐見焼とグリーン（農）クラフト（陶）
ツーリズムによるまちづくり

- ◎波佐見焼
- ◎リノベーションによるまちづくり
- ◎おもてなし観光資源





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

長崎県波佐見町

地域の
プロフィール

◆ 波佐見町は長崎県のほぼ中央、東彼杵郡の北部に位置し、東は佐賀県武雄市、嬉野市、北は佐賀県有田町、西は長崎県佐世保市、南は長崎県川棚町に接しており、海洋県長崎県にあって唯一海に接していない自治体です。

人口は14,925人、世帯数5,227(平成30年2月末現在)、高齢化比率30.2%、面積は55.97km²の町で、全国の一般家庭で使われている日用食器の約13%を生産する400年の歴史を有する全国屈指の「やきもの」の町です。

近年は、波佐見焼の知名度向上とブランド化はもとより、観光資源の発掘のため、やきものと農業を組み合わせ、町の特色を活かした「グリーンクラフトツーリズム」の交流人口拡大事業に力を入れています。



1

波佐見焼

◆進化する器「波佐見焼」

長崎県波佐見町を中心に焼かれる陶磁器のことを「波佐見焼」といいます。17世紀初めから400年間にわたり、庶民の器として親しまれてきた波佐見焼は「伝統工芸品と伝統的工芸品」のジャンル分けを行うと「伝統的工芸品」に位置付けられますが、暮らしの中に生きるやきものとして、時代のトレンドや生活者のニーズを敏感に感じ取り、いち早く新しいものづくりに挑戦することで作り出されるオシャレで使いやすい陶磁器です。

2

リノベーションによるまちづくり

◆リノベーション「西の原」

昭和初期の製陶所跡をリノベーションしてお洒落なお店が立ち並ぶ「西の原」。昭和の雰囲気そのままに新しく生まれ変わった波佐見町の新たな観光スポット。訪れるたびに新しいお店などが現れる「西の原」は、若い女性を中心に連日賑わう観光集客の拠点です。また隣接する国登録有形文化財の旧波佐見町立中央小学校講堂兼公会堂もリニューアル間近で、新たな集客が期待できます。

3

おもてなし 観光資源

◆とう（陶・湯）のう（農・能）による体験観光

古くから窯業と農業で暮らしを支え、温泉や伝統芸能で活気づいてきた自然豊かなまち。そこに息づく本物の暮らしを体験する観光「とうのう」。「酒塾」や「そば塾」、「米づくり塾」などの体験塾。また、「陶器まつり」をはじめ「桜陶祭」、「鬼木棚田まつり」、「皿山器替まつり」などなど町内各地で企画されるイベントで地域が活性化しています。1年を通じて、体験観光やイベントが楽しめる町です。

波佐見町の取り組み

1

独自の支援策

◆窯業商工業関連支援

地場産業の振興を重点施策として位置付けている波佐見町として、窯業をはじめとする商工業関連の支援策を充実させ、波佐見焼や波佐見町の知名度向上、産地および地域ブランドの向上を目指します。併せて中小企業振興資金や創業支援資金により、幅広く地場企業の振興と支援を行い活性化を図ります。

2

官民連携 事務局体制

◆DMOを見据えた事務局体制の強化

地域の稼ぐ力を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりのために、波佐見町観光協会を中心とした関係団体一体となって受け入れ体制の強化を図り、将来的にDMOを組織形成し登録を目指します。



3

全国へのPR

◆波佐見焼の強みをいかした全国PR

波佐見焼のさらなる知名度向上とブランド化のため、首都圏や地方都市においてPR事業を開催しています。代官山での長崎波佐見焼展「あいもこいも」や各地での波佐見焼フェア、全国の芸術系大学での「サクセッサー養成講座」など全国展開のPRを実施中です。



4

交通体系の整備

◆観光客目線の二次交通対策

バス路線の廃止等により、観光客にとって波佐見町へのアクセスや町内での移動が困難な状況が続いていたため、有田駅から波佐見町陶芸の館経由、中尾山までの「有田波佐見予約制乗合タクシー」を開通しました。また、町内周遊のため「周遊観光タクシー」と「電動アシスト自転車によるレンタサイクル」を開始し、観光客の足の確保を図りました。



5

インバウンド環境の整備

◆観光スポットへのw i f i 整備

波佐見町の主要観光スポット（波佐見温泉、陶芸の館、西の原、中尾山）のフリーw i f i 整備と陶芸の館くらわん館に免税店機能の整備を行い、特に外国人観光客の満足度の向上につながっています。



6

波佐見焼で乾杯

◆波佐見焼の器で乾杯を推進する条例の普及

歴史と伝統を誇る波佐見焼の器による乾杯の習慣を広めることにより、陶磁器産業、酒造業その他関連産業の発展及び郷土愛の醸成を図り、もって食と器の文化への理解の推進と産業の振興を図る目的で制定されています。今後も積極的に普及推進します。